



(漫画：圓山道子さん)

人権クイズ

Q 問題

短い物語を6つに切ってバラバラにしたカードがあります。元通りの意味を通じる文章に並べなおしてみましょう。

- A. 車いすの青年がいました。
- B. 道をたずねると、親切に教えてくれました。
- C. どうやら旅行者のようですが、道に迷ったのか地図を広げ、辺りを見回しました。
- D. 近くの病院から家に帰る途中のようです。
- E. 大きなカバンを持ったアベックが歩いていました。
- F. 青年は、二人にとっても感謝しました。

A 答え

A→C→E→D→B→F
 意味の通じる物語になりましたか？
 簡単にできあがったでしょうか、それとも案外に難しいなと感じましたか？
 「旅行しているのは車いすの青年だ」と気づいていただけましたか？
 もう一度私たちの心の中にある何気ない固定観念を、人権という観点から問い直して見ませんか？

出典元：摂津市人権協会 ホームページより

Voice



会員の皆様より、社会貢献活動や人権啓発への取り組みについてお話いただきます。

公益社団法人
熊本県看護協会
本 尚美 会長
(令和5年度(2023年度)理事)

看護協会は、看護職(保健師、助産師、看護師、准看護師)の職能団体で、研修による看護の質向上やまちの保健室の開催、災害支援ナースの派遣などによる県民の健康や福祉の向上に取り組んでいます。

看護はあらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象として、健康の保持増進、病気の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最後まで、その人らしく生きられるよう支援することを目的としており、看護職は病院や介護福祉施設、保健所など様々な職場で働いています。看護職には、深い知識と確実な看護技術だけでなく、相手の気持ちに寄り添い、尊厳や権利を尊重することが求められ、日本看護協会の定める倫理要綱の筆頭に掲げられています。

今回のコロナ禍では、感染者や医療従事者等への偏見・差別を始めとして、様々な場面で人権が問題になりました。感染症についての正しい知識を持って感染防止対策を行いながら、人権についても関心と理解を深めていくことの重要性を改めて感じました。また、子どもたちの人権、セクシュアルマイノリティに関する人権、外国人の人権など社会情勢の変化に伴い、より深く学習すべき課題があります。

看護職に求められるニーズや期待は今後も大きくなる考えられますので、引き続き技術と倫理観の向上にむけた取り組みを推進し、対象者に寄り添える看護を目指してまいります。

熊本市人権啓発市民協議会
令和6年度 総会を開催いたします。

日時：令和6年(2024年)5月23日(木)
15時00分～17時00分
※16時からトップセミナーを開催予定

場所：ザ・ニューホテル熊本
(熊本市西区春日1丁目13番1号)

お忙しいことは存じますが、人権協会員の皆様はぜひご出席ください。
なお、ご案内は各企業・団体の代表者様のお名前前で郵送させていただきますので、出欠のご返信にご協力をお願いいたします。
総会後にトップセミナー(講演会)を開催いたします。

詳細につきましては、後日ご案内状と一緒に送らせていただきますので、ご確認の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員情報内容の確認をお願いします。

3月14日付け、「会員情報登録票兼・変更届、配布物数量確認票の提出について(お願い)」の文書を啓発担当者様宛、郵送しています。熊本市人権啓発市民協議会では、会員の皆様へのご案内をスムーズに行うため、住所や連絡先、代表者様のお名前、啓発担当者様のお名前の情報を常に登録・更新しております。提出期限は4月10日(水)までです。ご多用の中恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、異動等により登録情報の変更が年度初めに限らず、年度途中に発生した場合も、お手数ですが、電話・メール・FAX・はがき等でご連絡ください。(変更届の様式がない場合は、熊本市人権啓発市民協議会ホームページに掲載していますので、ご利用ください。)

※上記、会員情報登録票兼・変更届等の情報は、総会で配布する会員名簿の資料となります。速やかなご返送にご協力いただきますようお願いいたします。

ラブミンだよりについてご意見・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

〒860-8601
熊本市中央区手取本町1-1
熊本市人権啓発市民協議会事務局(熊本市役所人権政策課内)

〔電話番号〕096-328-2333
〔F A X〕096-324-2105
〔ホームページ〕https://lovemin.jp/



熊本市人権啓発キャラクター「ラブミン」



ラブミン だより

春号
令和6年2024年



人権協ホームページ
https://lovemin.jp

ネット社会をかしこく豊かに 生きるために

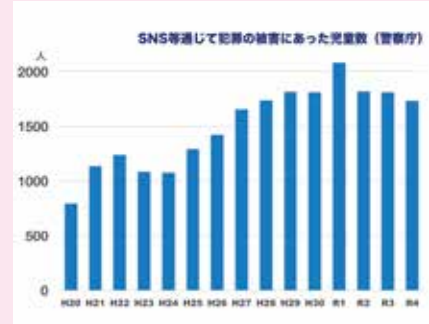
プロフィール

- ・熊本県人権関係研修登録講師
- ・元熊本県公立小学校校長
- ・2016年情報教育視聴覚教育功労者文部科学大臣表彰
- ・長年、情報教育推進のための実践や研究に尽力し、毎年、各学校や保護者会等の求めに応じて、情報モラル教育や情報教育推進に関する多くの講演を行なっている。



真和中学・高等学校 専任講師
戸田 俊文

右のグラフは、SNS等を通じて犯罪被害にあった子どもたちの数です(警察庁調べ)。子どもたちに対する人権侵害の深刻な状況が続いていることが読み取れます。子どもたちが、これからのネット社会をより安全に、そしてかしこく豊かに生きていくためには、どんな力が必要なのでしょう。



ネットに関する知識や、多様な状況に適応できる力など、どれも大切です。それらの中でも私は、幼い頃からでも身につけておくべき次の3つの資質能力もまた重要であると考えています。

1. 表現力

SNSなどでのやり取りは慣れれば慣れるほど簡単でぞんざいな表現になりがちです。対面でのやりとりであれば、口調や表情など様々な要素が自分の伝えたいことを補ってくれます。しかし、SNS上ではそれが削がれてしまい、言葉が発した側と、受けとる側との微妙なずれが、トラブルに発展することがあります。SNSでの慣れた表現を大幅に変えるのは難しいかもしれませんが、せめて「あと、一文つけ加えよう」と、子どもたちに伝えていきます。そうやってネット上における表現力を少しでも豊かにしていくことで、ネットでのトラブル軽減につながると考えています。

2. コミュニケーション力

家族、友人など身近な人との現実世界での対話を積み重ねておくことも大切です。ネット利用のコミュニケーションを取ろうと思えば思うほど、この対面世界でのコミュニケーションの積み重ねがものをいいます。私は、子どもたちには「スマホデビューをしようと思えば思うほど、スマホなしで会話ができる人をたくさん作っておこうね。」と語りかけています。

3. 想像力

木の葉を動物の顔に見立てて絵に描いたり、学校でのお米づくりの体験授業や修学旅行、職場体験学習など、体験的な学びも大切です。そこで得られる生の感覚は、ネットの検索だけでは簡単に身につかないものです。多くの体験を基盤にすることで、子どもたちは豊かな想像の世界を広げていきます。「この画像で嫌な思いをする人はいないかな」「この投稿で傷つく人はいないかな」などと想像力を働かせることで、ネットでのやり取りをより豊かなものにすることができるのではないのでしょうか。

子どもたちが、自己や他者の人権を尊重しながら、ネット社会の中で豊かに生きていくためには、「表現力」「コミュニケーション力」「想像力」といった誰もが学び、培ってきた資質能力に目を向けることも重要ではないかと考えています。

共に創る。共に生きる。

Daiwa House 大和ハウス工業株式会社 熊本支店
 〒862-0912 熊本市東区東春日15番24号
 Tel. 096-360-5225 Fax 096-360-5200

私たちは お客様の
想いと夢をデザインします...

熊本市コロニー協会(コロニー印刷)

〒960-0051 熊本市西区二本木3丁目12-37
 TEL.096-353-1291 FAX.096-351-4303
 Home page https://www.colony-k.com/ E-mail soumu@colony-k.or.jp

熊本市がつくった
福利厚生制度 **ふれあう共済**

会費1人**350円/月**で従業員の皆様に充実した福利厚生サービスを提供します。人材確保、雇用のワークライフバランスの取組みとしてお役立てください。

マスコットキャラクター「ふれあう共済」
 (一財)熊本市勤労者福祉センター
 熊本市中央区黒髪3-3-12 9階7号熊本内
 TEL: (096) 345-7311 https://fureau.net